

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	事業所名	事業所における自己評価結果				公表日	2026年 2月 1日
	ハッピーテラス福山教室						
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・物の配置等を工夫し、活動スペースが確保できるよう努めている。		・建物の構造上の課題はあるが、今後も、適切なスペースを確保できるよう、物の配置や活動内容等を精査していく。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・利用者や活動内容に合わせてシフト調整を行っている。		・基準人員は満たしているが、今後の新規利用者の様子等によっては増員を考える。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・物の配置等を工夫し、分かりやすい空間づくりを行っている。		・建物の構造上の課題はあるが、バリアフリー等に関する対応策をとってはいる。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	・日々の清掃や感染症予防のための換気、消毒等を行っている。		・今後も継続してしていく。	
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別での対応や本人の様子や要望に合わせて使用できる部屋や空間を設けている。		・今後も継続してしていく。	
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・利用者の様子の記録の中で、目標に対しての振り返りを記載するとともに、全ての職員が閲覧やコメントを残すことができるようになっている。それをもとにした支援前後のミーティングを実施している。		・今後も継続してしていく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に1回のアンケート及び日々の送迎時での情報交換等により、移行の把握に努めている。		・今後も継続してしていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ミーティング、その他により、適宜、職員の意向の把握に努めている。		・今後も継続してしていく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・現在は第三者による評価を明確に受けではないが、事業所間での情報共有の際に、当事業所に対してのご意見を伺う機会を設けている。		・今後も継続してしていく。	
適切な支援の提供	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・FC本部による研修の受講や自治体及び協議会での研修を受講している。		・受講したい研修についての職員の意向を把握し、適宜、受講をさせる。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・年1回以上プログラムの公表を行う。本年度は4月、7月、1月に更新している。		・今後も継続してしていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・日々のモニタリング及び本人、保護者の意向を確認し、支援会議において広く意見を求める、客観的な分析のもので計画作成に努めている。		・今後も継続してしていく。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・目標設定や支援内容及び方法の決定には、会議等により、個々の様子や方向性について職員間で相談し、共通理解のもので支援を行っている。		・今後も継続してしていく。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・目標設定や支援内容及び方法の決定には、会議等により、個々の様子や方向性について職員間で相談し、共通理解のもので支援を行っている。また、支援計画を職員がいつでも閲覧できるようしている。		・今後も継続してしていく。	
適切な支援の提供	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・アセスメントツールや記録をもとに確認している。		・今後も継続してしていく。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援、地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・全ての項目について、検討し設定している。		・今後も継続してしていく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・ミーティング等で支援方法等を含めて協議している。		・今後も継続してしていく。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・ミーティング等で支援方法等を含めて協議している。		・今後も継続してしていく。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・状況を共有し、個別又は集団での活動を組み合わせている。		・今後も継続してしていく。	
関係機関や保護者との連携	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前後に活動内容や支援方法等について協議している。		・今後も継続してしていく。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・支援開始前後に活動内容や支援方法等について協議している。		・今後も継続してしていく。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・個別支援計画の目標に合わせて記録を取り、改善に繋げている。		・今後も継続してしていく。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングを実施するとともに、一定期間でのまとめを作成し、それらをもとに計画の検討を行っている。		・今後も継続してしていく。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・基本活動を盛り込んだ活動提案を実施している。		・今後も継続してしていく。	
保護者への説明等	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・施設での余暇時間や活動時間内において、自己選択する機会を設けている。		・今後も継続してしていく。	
	26 障害児相談事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・状況を理解しているものが参画するとともに、会議参加前に事業所内での情報の共有と確認を行っている。		・今後も継続してしていく。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	・事業所としての連携の準備はある。		・連携の機会の設定が難しい場合がある。必要に応じて、事業所側からの打診を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・必要な際に情報共有ができるよう関係の構築をしている。		・今後も継続してしていく。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	・事業所としての連携の準備はある。		・就学前の施設との情報のやり取りの実績はあるものの機会が少ない。今後、事業所側からの打診を行っていく。	
保護者への説明等	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	・卒業後に福祉サービスを活用する事例が当事業所ではないが、成人期の施設や相談支援事業所との関りはある程度増やしている。		・今後も継続してしていく。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40%	60%	・必要な際に助言等を頂けるよう話をしている。自立支援協議会等での顔合わせの中で関係構築に努めている。		・今後も継続してしていく。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0%	100%	・特に関りは無い。		・機会の設定が難しいが、企画を立案しつつ、各施設と協議していく。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・協議会に参画している。		・今後も継続してしていく。	
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時等に日々の様子について情報交換を行っている。		・今後も継続してしていく。	
非常時等の対応	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・保護者会や活動体験会等を企画、実施している。		・今後も継続してしていく。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時及び必要となった際に、適宜、具体的な説明に努めている。		・今後も継続してしていく。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・ご提案の際に、素案をもとに意向の確認を行っている。		・今後も継続してしていく。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・計画の説明を行い、同意を得ている。		・今後も継続してしていく。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・必要に応じて、面談や助言を行っている。		・今後も継続してしていく。	
非常時等の対応	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者会や活動体験会等を企画、実施している。		・保護者交流の機会が少ないので、今後、企画をしていく。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情や要望については、速やかに検討し対応している。		・今後も継続してしていく。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・HPの案内やイベント等の案内を適宜行っている。		・今後も継続してしていく。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・システム及び鍵付きのキャビネットなどを活用し留意している。		・今後も継続してしていく。	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・機器を活用し配慮して伝達を行っている。		・今後も継続してしていく。	
非常時等の対応	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%			・地域住民を招待する機会は今のところない。今後、周知活動の一環として、活動体験等の機会を設ける予定である。	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・マニュアル作成を行い、訓練を実施している。契約時に説明を行ったり、訓練の実施についての情報を掲示したりしている。		・今後も継続してしていく。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練						